

お知らせ

INFORMATION

No.2018-34
2018年11月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せてウエスタンブロット法 (WB) につきましては試薬販売中止のため、受付中止とさせていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆ HTLV-1 抗体 (ラインブロット法) (LIA) [16433]

…検査実施施設 (S)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》: 2018年12月6日 (木) 受付分より

【検査受付中止について】

◆ HTLV-1 抗体 (ウエスタンブロット法) (WB) [10507]

…検査案内掲載 P59 検査実施施設 (S)

《最終受付可能日》2018年12月5日 (水) 受付分まで

HTLV-1抗体（ラインプロット法）

HTLV-1感染の診断補助に、判定保留率の低減が期待される新しい確認検査です。

ヒトT細胞白血病ウイルスI型（HTLV-1）は成人T細胞白血病（ATL）やHTLV-1関連脊髄症（HAM）等の起因ウイルスであり、HTLVキャリアの大部分は抗HTLV-1抗体を保有しています。HTLV-1抗体検査は、ATL、HAMの診断補助や、母子感染などの感染防止を目的としたキャリア検出に重要な役割を果たしています。

HTLV-1抗体検査は、一次検査としてPA法やCLEIA法が用いられ、陽性が確認された場合に、ウエスタンブロット法（WB法）による確認検査が行われています。WB法の結果により判定が確定されますが、判定保留率が10～20%と高いことが問題となっています。

本項目は、ラインプロット法により、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体を検出する定性検査です。WB法と同様、一次検査での陽性例に対する確認検査として、新たに保険適用となりました。現状のWB法に比べ、判定保留率が低減することが期待されています。

【新規項目情報】

| | |
|---------|--|
| 項目名称 | HTLV-1抗体（ラインプロット法） |
| コード | 16433 |
| 検体材料 | 血清 0.2mL |
| 保存 | 冷蔵（28日間） |
| 採取容器 | No.1 → No.5 |
| 検査方法 | ラインプロット法（LIA） |
| 基準値 | （-） 判定基準：下記参照 |
| 所要日数 | 4～7日 |
| 実施料（区分） | 425点（D012 49） |
| 判断料 | 免疫学的検査判断料 144点 |
| 備考 | 測定対象は抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体です。型別の報告ではありません。 |

【判定基準】

| | | |
|-----------------------------|---|-----|
| ラインが認められない | | （-） |
| ラインが1本認められる（ $\geq \pm$ ） | gag p19 か gag p24 か env gp46 のいずれかが認められる。 | 保留 |
| | env gp21 が認められる。 | |
| ラインが2本認められる（ $\geq \pm$ ） | env gp21 が認められない。 | （+） |
| | env gp21 が認められる。 | |
| ラインが3本以上認められる（ $\geq \pm$ ） | | |

参考文献：Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5（1）：45～49, 1998。（検査方法参考文献）
Umeki K, et al：Clin Lab 63（2）：227～233, 2017。（臨床的意義参考文献）

以上